

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	淡路こども園		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「本人主体」「本人の意思決定を支援する」という考えのもと、日々の支援を行っている。	基本の理念や見方を職員や保護者とも共有できるように確認する場(相談や勉強会、研修等)を持っている。	保護者や職員と日頃からコミュニケーションを取ること、情報提供も含めて周知徹底すること。
2	「本人主体」「家族支援(きょうだいを含む)」の両輪で支援していて、特に家族支援をしていることが、保護者の安心感になっている。	本人のことはもちろん、家族のことについても日頃から相談にのり、支援するようにしている。こども園だけで対応が難しい時は、教育・福祉・医療等の関係機関につなぐようにしている。	複合的な課題を抱えた家庭が増えているので、区役所や自立支援協議会で事例検討する等していきたい。
3	ライフサイクル支援の視点を持って支援している。	幼児期から学齢期、成人期と一貫して支援していくことの大切さを保護者に伝えたり、保護者会や卒園児の親の会も合同で行事や講演会、勉強会を行っている。	フォーマルな支援だけでなく、保護者同士で支え合うインフォーマルなつながりや、学び合いを積極的に応援していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が行っている様々な支援や専門家も含めた相談、マニュアルに添った訓練等、保護者への周知が不十分で、知らない人にとって不公平である。	放デイは長年利用されている子どもや保護者が多いが、一番最初に話や説明をして、その後定期的に周知ができていないケースがあった。	新年度が始まった時にきちんと説明する機会を作り、全員(子どもや保護者、職員)に周知徹底する。
2	環境面で施設が古く、エレベーターがない等、バリアフリーが部分的。	施設が古いこと、設備の故障や不備はその都度対応しているが、見た目も含めて快適さに欠けている。	毎日の清掃・消毒・整理整頓と、定期的な安全チェックを実施する。 施設の建て替えについて、将来を見通して計画的に取り組む。
3	通信やホームページ等を利用料しての情報発信が弱い。やっではないわけではないが、頻度や内容についての見直しが必要。	子どもや保護者の求めている内容になっているか、情報発信していることを知らない人や、知っていても実際にどれだけの人が見ているか等、リサーチ不足である。	内容や頻度について、子どもや保護者の意見を聞いて具体的に対応し、期待に応えるようにする。